

「放射線副読本」反対運動に取り組んでおられる全国のみなさま 第1回署名提出と政府交渉、交流会を夏休み中に行います。ご出席を！

8月29日(木)参議院議員会館(部屋未定)

- 10:15 通行証配布、打合せ
- 10:30-12:00 復興庁(署名提出と交渉)
- 12:00-12:30 休憩
- 12:30-13:00 作戦打合せ
- 13:00-14:30 文科省(署名提出と交渉)
- 15:00-17:00 交流会(運動の交流と今後の進め方を中心に)

ハードなスケジュールになっています。6月12日相談会で、1日で済ませた方が良いとの大方のご希望でしたので。まだ、時間などは確定できていませんが、どうぞ今からご予約をお願いします。

再改訂版「放射線副読本」撤回署名の集約は8月25日にしています。よろしくお願いします。

出席できない方も、事前に各地の情報をお知らせください。共有したいと思います。

主催：地球救出アクション97、原子力資料情報室。ヒバク反対キャンペーン
連絡：稲岡美奈子 090-7090-1857、Eメール minako-i@estate.ocn.ne.jp

全国で運動が行われています！

再改訂版「放射線副読本」について学習・批判し、学校や教育委員会、文科省に抗議の活動を行い、市町村議会で取り上げるなどたくさんの自主的な行動が行われています。滋賀県野洲市の回収が報道されましたが、大阪では少なくとも4つの市で「副読本」は、使わないで学校に保管されています。

政府に向けた「放射線副読本撤回署名」の賛同団体は70団体に近くなり、全国から署名が届いています。教職員組合、労働組合、生協などでも取り組まれています。

「放射線副読本」は福島原発事故被害をなかったことにする！

文科省交渉を行い(3/22)、情報収集を行うなかで、この「副読本」は、安倍政権による福島原発事故の被害者切り捨て、原発再稼働政策の中心的なものの一つであることが分かりました。

2017年には国会で政府与党から福島の子どものいじめ、風評払拭の対策を要求する質問が何回も出され、「放射線教育」を行うための「放射線副読本の改訂」が要求されました。その結果、東日本大震災復興特別会計から約2億円が支出され、福島復興が進み放射線被害は心配なく、放射線の正しい知識でいじめも風評もなくなるという再改訂版「放射線副読本」が全国の子どもたちに配布されたのです。その裏では復興庁が専門家を集めた会合で「放射線のホント」のようなものの全戸配布が検討されましたが、費用がかかりすぎるとして、「副読本」が選択されたのです。そのためか、「副読本」は家族と話し合うようもとめています。

「真実と人権を教える教育」、「福島被害者支援・原発ゼロ」を求めよう！

「放射線副読本」は最もひどい学校教育の政治利用です。ウソを教える教育破壊、被ばくを受け入れさせる人権蹂躪です。これを許すことはできません。子どもたちの教育を守る運動であると同時に福島原発事故の被害者の人権を守り、原発ゼロをめざす運動でもあります。

今年度も「副読本」が送られてくる！

「副読本」がしっかり使われているかどうか、フォローアップの要求も国会で何度も行われています。そして、2年目の予算として、今年度も、全ての小中高の1年生分の「副読本」が学校に送り付けられます。